



2022年4月22日

各位

会社名 株式会社ビジネス・ブレイクスルー
代表者名 代表取締役社長 柴田 巖
(コード番号 2464 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 徳永 裕司
(TEL. 03-5860-5530)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した2022年3月期の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,833	319	300	123	8.91
今回修正予想(B)	6,756	468	468	215	15.30
増減額(B-A)	△76	+149	+168	+91	—
増減率(%)	△1.1	+46.7	+56.1	+74.1	—
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	5,888	200	200	100	7.24

2. 修正の理由

2022年3月期の売上高につきましては、概ね前回予想どおりとなる見込みであります。
利益面につきましては、5つの重要強化領域のうち、英語教育事業系に「ハッチリンクジュニア」を提供する(株)ブレンディングジャパン、ITマネジメント事業系においては、日本クイント(株)が当社グループに加わり両社の業績が寄与したほか、特に第4四半期において、新型コロナウイルス感染症の第6波により、通園・通学のあるインターナショナルスクール事業系への影響懸念があったものの、その影響が限定的であったことなどから、営業利益、経常利益ともに前回予想を上回る見込みであります。なお、第4四半期において遊休資産及び収益性の観点から一部事業資産の再評価を行った結果、評価損として特別損失52百万円を計上する見込みであるものの、前述のとおり営業利益、経常利益が前回予想を上回ることから親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を上回る見込みであります。

以上

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。